

■四国八十八カ所霊場めぐりと写経



平成16年11月念願の四国遍路を始めました。松下精工を卒業して10年余、しみじみ自己を見つめなおし、越し方と行く末のこととともに思いを馳せるのもいいかなと軽い気持ちで歩きました。

今、静かに考えますと四国と私は何かの縁で結ばれていたように思います。昭和19年終戦の1年前に学童疎開で徳島県に半年間、親兄弟と離れ辛い悲しい日々を過ごしました。松下精工在任中は何度か四国を訪れましたが札所めぐりや遍路についてあまり興味が無くその気になりませんでした。細川彰大先輩の米寿お祝いを持って善通寺市を訪問した帰途、1番札所霊山寺に参拝したとき突然、遍路願望が湧き出し前述のように延べ1年間4回に分けて目出度く満願を果たしました。結願の大窪寺から高野山奥の院の参拝を終えたときの達成感は忘れられません。できればもう一度と思う今日この頃です。

遍路について

四国八十八カ所の札所は弘法大師空海が修行のためめぐった寺と呼ばれています。各札所は次のように四国の各県に散在しています。

- ①徳島県（阿波の国） 23札所「発心の道場」
- ②高知県（土佐の国） 16札所「修業の道場」
- ③愛媛県（伊予の国） 26札所「菩提の道場」
- ④香川県（讃岐の国） 23札所「涅槃の道場」

合計八十八カ所、全工程1,400km、88の煩惱を除き功德をもたらすといわれています。それぞれの寺にはご本尊を祭る本堂があり、その横又は対面に弘法大師を祭る大師堂があります。遍路は作法によって入山し心をこめて心経と真言を唱えます。八十八ヶ所を巡拝するうち自然と自分を知らうとする気が湧いてくるのに驚きます。かつては遍路ころがしといわれる難所が多く十分な体力が必要でしたが、現在ではバスツアーやロープウェイも整備され老人や子どもの遍路も多く見かけました

写経について

本堂と大師堂には納め札を入れる箱と写経を入れる大きな箱があります。せっかくお参りするのですから般若心経を謹書し納経できれば最高です。八十八カ所の本堂と大師堂に二巻、高野山に一巻、合計百七十七巻写経すれば大きな功德となるでしょう。私の場合、徳島を巡拝中に写経を思いつき、高知から始めて百三十一巻を納経しました。写経するからには当然、願意というお願い事を書きます。私の場合、主に先祖供養や故人となられた先輩友人の追善供養でした。心をこめて参拝し、納経することで不思議と気が静まり、生かされている有難さが体感できます。

皆様も是非、遍路と写経による心の安らぎを体得されますようお勧めします。

合掌



室戸岬の荘厳な夜明けに身も心も洗われる



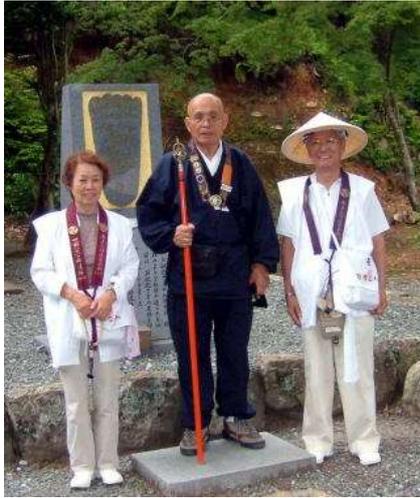
家内と共に遍路支度で



ひたすら歩き続ける日々



心経と真言を唱え納経する



大先達の鈴木さんと



大勢のお遍路さん達と



無心でお経を唱える



お遍路友達の大塚さんと



急な石段も、遍路には付きもの



さる11月2日 東京新宿の厚生年金会館で行われました「全国社会福祉大会」に出席し標記の大臣表彰を戴きました。

特に今年は「児童福祉法制定60周年」にあたり児童問題に関わる功労者が全国から約1500名が参加し、うち808名が大臣表彰を受けました。

そのうち41名の里親の一人として表彰を戴きましたが大変光栄なことと感無量の想いをいたしました。

なお当日は「国家の品格」の著者であるお茶の水女子大学教授、藤原正彦氏の記念講演があり有意義な一日でした。

思えば1975年岐阜県の登録里親として県知事の認定を受け、以来数十人の家庭に恵まれない子どもたちを受け入れ起居を共にしてきましたが特に昨年は近年、社会問題化しています被虐待児を半年にわたって養育し苦労しました。

私も今年75歳の老人となり子育て役の主役を努めてきました家内も病を得ましたので児童の養育は体力的に無理となりこれからは里親制度の普及と児童の委託推進に努力したいと思っています。

今回の受賞事由はこれまでの30年余りの児童委託と25年ほどの里親会運営活動を評価されたこと特に、この10年は岐阜県里親連合会の会長を務めてきて県 児童審議会委員として児童問題に関わってきましたことが主な事由と思います。

全国に500箇所あります児童養護施設には約3万名の子どもが親とはなれて生活し施設はいずれも満杯状態です。その他、乳児院、児童自立支援施設、一時保護所 など、児童虐待や養育放棄などで児童の生活環境は最悪の状態です。

できれば松寿会会員の皆さんが里親会と児童問題に関心を持っていただけるなら喜ばしいことと思ひ受賞を機会に私の希望を申し上げてみました。

なお、本件に係わる私の受賞歴は

- ①平成5年 岐阜県里親連合会会長表彰
- ②平成10年 全国里親会会長表彰
- ③平成12年 岐阜県知事表彰
- ④平成19年 厚生労働大臣表彰

以上です。